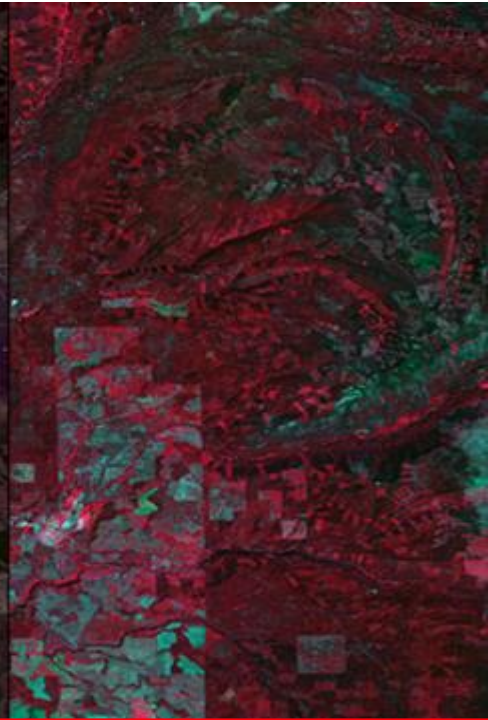
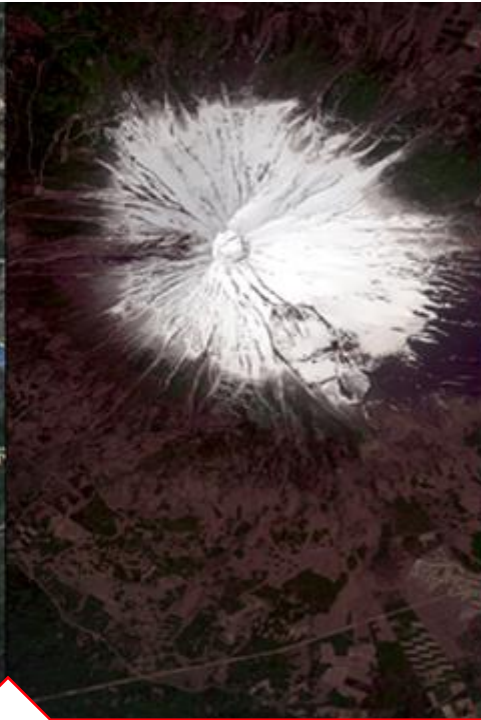
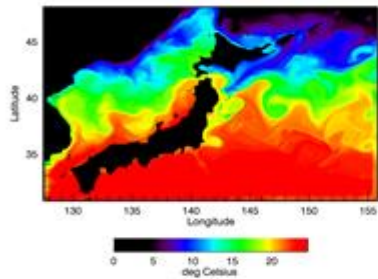


Sea Surface Temperature



# ENVI 5.6 SP2新機能紹介

Harris Geospatial株式会社

# ENVI5.6 SP2の新機能



- サポートOS
- データフォーマットの追加
- 新機能
- 機能向上
- APIの追加

# サポートOS



OS	ハードウェア	サポートバージョン <sup>b</sup>
Windows	Intel / AMD 64-bit <sup>a</sup>	10, 11
macOS	Intel 64-bit	10.14, 10.15, 11, 12 <sup>c</sup>
	M1	11, 12 <sup>d</sup>
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Kernel 3.10.0 , glibc 2.17

- a:** ENVI5.3よりWindowsは64-bit OSのみのサポートとなります。32bitモードのENVIを起動する場合は、「ENVI5.6/IDL8.8インストールガイド」の「Windows版ENVI/IDLの起動方法」をご確認ください。
- b:** サポートバージョン中の記載は、ENVI/IDLの構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されます。
- c:** Macintosh版のインストールには、Apple X11 X-windowマネージャが必要となります。X11がインストールされていない場合は、XQuartzよりインストールを行ってください。XQuartz2.8.1にて動作確認されています。
- d:** M1チップマシンには、Rosetta2 エミュレータが必要です。

# データフォーマットの追加



- ENVIは新たに以下のデータをサポートします。
  - ✓ Meteosat 2nd generation: Level 1.5
  - ✓ Landsat 9
    - ✓ Collection 2: Level 1 and 2
    - ✓ Analysis Ready Data
  - ✓ STANAG 4676 Track Points: Edition B
  - ✓ SuperView-1: Level-1B and Level-2A multispectral and panchromatic data

# 新機能



- Xtreme ViewerによるMIE4NITFシリーズアニメーション機能
  - ✓ 最大30 フレーム毎秒 (FPS)
  - ✓ アニメーションを順方向または逆方向に表示可能
  - ✓ ブックマーク機能
  - ✓ コントラストストレッチ機能

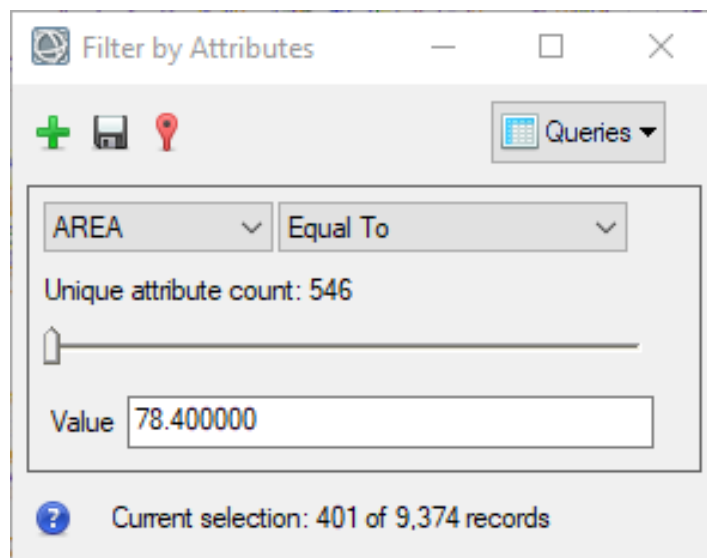
Xtreme Viewer for MIE4NITF Frame Animation





## ■ 属性フィルタリング

- ✓ ベクタレイヤに属性テーブルが関連付けられている場合は、1つ以上の属性でレコードをフィルタリングできます。



属性フィルタリング



ENVIツールボックスに以下の機能が追加されました

- Decorrelation Stretch（非相関ストレッチ）
  - ✓ マルチスペクトルデータセットで一般的に見られる高い相関を削除し、よりカラフルなカラー合成画像を生成します。
- Generate Thumbnail Image（サムネイル画像生成）
  - ✓ 指定されたラスタから指定サイズのサムネイルを生成します。
- Regrid Raster（ラスタ再グリッド）
  - ✓ ラスタを再グリッド処理するためのカスタムグリッドを定義するツールです。
  - ✓ カスタムグリッドは、ラスタとベクタを共通の座標系に地理参照するために必要な情報を提供します。



## ■ メタン指数

- ✓ Spectral Indices ツールやAPIで使用できる、メタン排出量を検出する新しいインデックスが利用可能です。

## ■ レイヤマネージャの複数選択機能の追加

- ✓ レイヤマネージャに複数のデータレイヤがある場合、マルチセレクトが利用できるようになりました。
- ✓ Ctrl または Shift キーを押しながら必要なレイヤを選択し、非表示、削除などのアクションを一度に実行することができます。

## ■ API書き込み速度のパフォーマンス向上 - BIPインターリーブ

- ✓ BIPインターリーブのENVI API書き込み速度が大幅に改善され、場合によっては最大90%まで向上しました。





## NITFのパフォーマンス改善

### ■ 画像表示性能の改善

- ✓ NITF 2.1 JPEG 2000 圧縮画像の画面への表示時間が最大 80% 高速化されました。
- ✓ NITF非圧縮画像の画面表示時間を最大40%高速化しました。

### ■ NITFメタデータ解析の改善

- ✓ NITFメタデータの解析時間が60%高速化されました。



## ■ パフォーマンスの向上

- ✓ ズーム補間法（ディスプレイの一般環境設定）のデフォルト値が、Optimized Bicubicに変更されました。（以前はNearest Neighborに設定されていました）
- ✓ Optimized Bicubicを使用することで、ズームイン・ズームアウト時の画像がより自然なものになります。

## ■ 動画サポートに関する廃止

- ✓ 以下のWindows 32bit動画に関するサポートが廃止されました。
  - ✓ Full Motion Video機能
  - ✓ ENVIViewオブジェクトのChipToVideoメソッド
  - ✓ VideoToRasterSeriesタスク

# APIの追加



ENVI+IDLのプログラムで使用できるENVITasksに以下のものが追加されました。

Task名	機能
FindRasters	パターンマッチングに基づいて、指定されたディレクトリ内のラスタを検索して開きます。
DecorrelationStretch	マルチスペクトルデータセットによく見られる高い相関性を除去し、よりカラフルなカラー合成画像を作成します。
GenerateThumbnail	指定されたラスタから指定サイズのサムネイルを生成します。
MergeROI	複数のROIポリゴンを結合（UNION）または交差（INTERSECT）し、単一のROIとして出力します。

# お問い合わせ

---



Harris Geospatial株式会社  
技術サポート

03-6801-6147（東京）

06-6441-0019（大阪）

[support\\_jp@L3Harris.com](mailto:support_jp@L3Harris.com)